

手動可変光学遅延ライン

Optical Fiber Delay Lines, Manually Variable



- 省スペース
- 単位長さあたりの遅延が大
- 長い遅延：600 ps以上
- 挿入損失変動が小さい
- 堅牢な設計

F-VDLシリーズの手動可変光学遅延ラインを使用すれば光路長に18 cm(600 ps)を超える精密な変化を与えることができます。コンパクトかつ堅牢に設計されたF-VDLシリーズは精密光路長調節やタイミング調整用としてネットワーク装置や試験装置に組み込んで使用するのに理想的なデバイスです。

アプリケーション

- 受動時間分割マルチプレクシング
- TDMビットアラインメント
- ファイバ干渉計

仕様

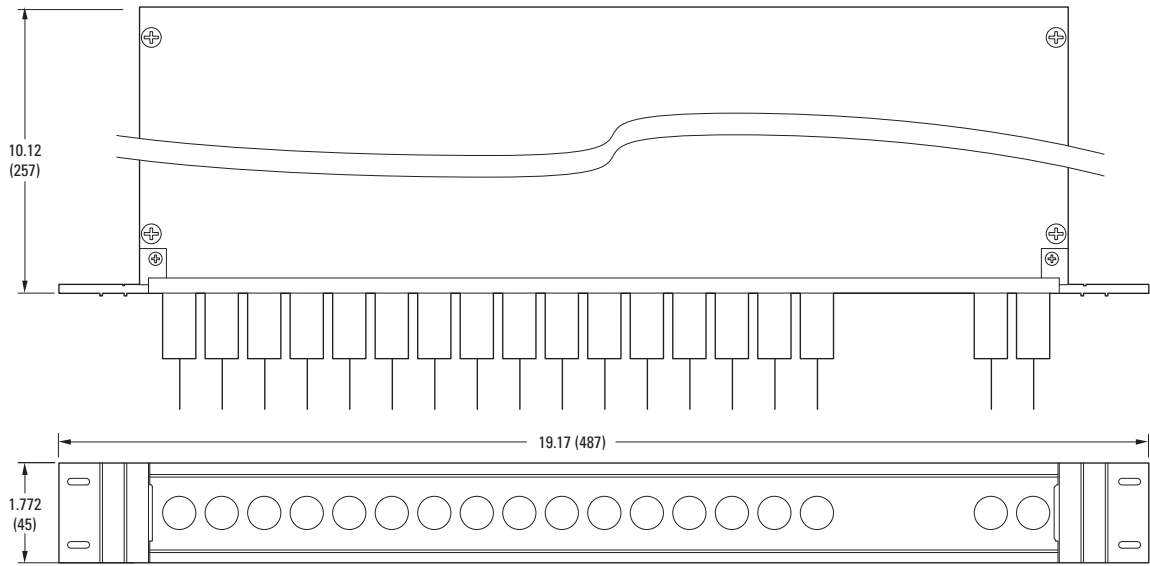
	330 psモデル	600 psモデル
波長範囲 (nm)		1,260 - 1,650
光学遅延範囲 (ps)	0 - 330 ¹	0 - 600 ¹
スケール分解能		0.05 mm
挿入損失 (dB)		1.0 ± 0.5
反射損失 (dB)		50
消光比		
最大光学パワー (mW)		300
操作温度範囲 (°C)		0 - 40
保管温度 (°C)		-40 - 60
ファイバタイプ		SMF-28 または偏光維持
寸法 [in. (mm)]		1.0 x 2.1 x 6.0 (25.4 x 53.3 x 152)

¹0点で約170 ps、ファイバの長さによる遅延への寄与があります。

発注のご案内

モデル	内容
F-VDL-2-3-FP-S	可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、330 ps、SMF-28ビッグテール、FC / PCコネクタ
F-VDL-2-3-FA-S	可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、330 ps、SMF-28ビッグテール、FC / APCコネクタ
F-VDL-2-6-FP-S	可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、600 ps、SMF-28ビッグテール、FC / PCコネクタ
F-VDL-2-6-FA-S	可変遅延ライン、1,310 / 1,550 nm、600 ps、SMF-28ビッグテール、FC / APCコネクタ
F-VDL-1-3-FP-P	可変遅延ライン、1,550 nm、330 ps、PMビッグテール、FC / PCコネクタ
F-VDL-1-3-FA-P	可変遅延ライン、1,550 nm、330 ps、PMビッグテール、FC / APCコネクタ
F-VDL-1-6-FP-P	可変遅延ライン、1,550 nm、600 ps、PMビッグテール、FC / PCコネクタ
F-VDL-1-6-FA-P	可変遅延ライン、1,550 nm、600 ps、PMビッグテール、FC / APCコネクタ

パッケージ"E"



ファイバオプティックカプラ、マルチモード

Fiber Optic Couplers, Multimode



- 1x2、2x2、1x4および1x8フューズドファイバオプティックカプラ
- 低い光学損失
- 環境的に安定
- オプションで終端処理タイプもご用意

Newportのファイバオプティックカプラファミリーはフューズドファイバテクノロジーを利用して開発されました。遠距離通信、ケーブルTV、航空宇宙産業、防衛および研究開発などの用途に適合するように、最先端の製造技術を利用するとともに広範囲に及ぶ環境テストで確認をとっています。

マルチモードファイバオプティックカプラを使用すれば、双方向カップリングが可能となるだけでなく、信号を分割または結合することができます。この製品は、62.5/125 μm ファイバで利用でき、挿入損失が低く、そして800 nmから1,600 nmまでの広波長域に対応しています。1x2カプラおよび2x2カプラについては、カップリング比50/50 (3 dB)および10/90の両方をご用意しております。1x4および1x8のポート構成もご利用いただけます。

すべてのファイバオプティックカプラに完全耐久型の黒色プラスチックハウジングが採用されており、PVCを3 mm被覆した長さ1 mの非終端処理ピッグテールファイバがハウジングに取り付けられています。終端処理オプションについては発注のご案内をご覧ください。

シングルモードファイバオプティックカプラについてはP297を参照してください。